

# えびぞり

立川と語ろう 立川に生きよう

May 2024

Écoutez Bien Vol.40 No.470

5

今、学校がおもしろい!







# サンフジ



サラダジャージャー麺



野菜たっぷり生姜スープ麺



黒酢油淋鶏

## おいしい中華を食べるなら

何を食べてもハズレなし

「美容と健康がテーマ」というだけあって

味はまろやか、何度食べても飽きない美味しさ

黒酢の油淋鶏の美味しいこと。激辛麻婆豆腐も美味しいんです。山椒好きにはたまらない辛さ。

五目餡かけ麺が好きだけど、担々麺も好きという人のために五目餡かけ担々麺。いや、担々麺と麻婆豆腐だよという人には麻婆担々麺。お客様の要望からランドメニューに追加されました。

一度は食すべし、きつねちゃんコロッケ。あっさりした美味しさ。

野菜たっぷり生姜スープ麺は、野菜がたくさん摂れる多摩立川保健所推薦のメニューです。

サンフジ名物は、美味しい中華もそうですが、マネージャーの元気もその1つ。

お店に行けばわかります。



ピータンとクラゲの酢の物



手羽先の香り揚げ・焼きニラ饅頭・スタミナ餃子

中華料理 サンフジ

立川市幸町2-3-5 TEL 042-536-3813

定休日 平日の水曜日と木曜日

営業時間 11:00~15:00 (L.O 14:30)

17:00~21:30 (L.O 21:00)



# 立川が拠点です

## フットサル 立川アスレティックFC代表 皆本晃さん

大学を卒業した年から日本代表選手  
スペインやカタールのチームを経験してきた  
今、フットサル界をけん引する存在へ

——立川の名前を冠したフットサルチームの社長兼選手でいらっしやいます。

**皆本** 僕が高校卒業した年に、日本代表がワールドカップに出たという、まだフットサルを知っている人なんて本当にいなかった時代に、フットサルを知りました。幕張メッセで行われた日本代表の試合を観て、「この方が世界に近いな」と思ったんです。それで大学の近くにあった府中アスレティックFC、現在の立川アスレティックFCに入れてもらいました。

——海外に行かれるサッカー選手ってその国の言葉をペラペラ話しますよね。

**皆本** 喋れなくてもプレーできる、個人プレーとは違い、サッカーは団体スポーツで、ピッチに入ったら監督の指示なんて聞けなくて、選手同士で話します。喋れないと成り立たないんですよ。僕もスペインに行きましたからわかりますが、ロッカールームでも会話に入って、仲間として認めてもらえないとプレーできない。パスも来ないんです。本当です。スペイン語圏なんてすごいですよ。仲間だと思ってもらえないと一緒に戦ってもらえないし、結局仲間はずれになってしまうんです。だから喋らざるを得ない。

——皆本さんは、スペインやカタールに2年いらっしやいましたが、それ以外はずっと日本代表でした。

**皆本** 22歳、大卒1年目の年に選んでいただいて、そこからケガもあって抜けた時期もありましたが、ほぼずっと日本代表です。35歳の時にワールドカップがありまして、その時がひとつの区切りではありました。

——立川アスレでは依然必要な存在です。

**皆本** そうですね。これもいいか悪いかはわ

かりませんが。僕も37歳になりますので、その時点で僕がまだ必要ということはチームの強化が進んでいないということになります。もちろん僕も必要ないと思われずに頑張っているんですけど。

——以前、立川アスレには全日本の有名選手が何人かいたと思いますが。

**皆本** スポーツとお金の問題は切っても切り離せないものなのですが、活躍するとお金のいるチームから条件のいいオファーが来ちゃいます。いい選手を引き留められるほどの力がないというのも事実で、一方オファーが来るような選手がいないのも寂しいです。僕が経営者になったのは、この部分を変えたいからなんです。クラブを大きくする。それはお金のためだけではなくて、街の人に愛されて必要な存在となることで、それが結果としてチームが潤うことになって選手たちに給料が払えるという流れを作って、選手たちを守りたい。子どもたちが夢を追いかけられる環境を作りたいというのが、僕が経営者になった大前提なんです。

——B1リーグのレバンガ北海道、経営者の折茂武彦さんは元プロバスケット選手ですよ。埼玉県出身の。その彼がレバンガ北海道の経営者になり、B1リーグで、今季も上位につけているって、すごいことだと思うんです。

**皆本** ええ、すごいと思います。モデルケースとしてはすごく参考にさせていただいています。でも僕はそれ以上を目指しています。

——フットサルの環境を変えるのは

難しいと思いますが、あえてそこに挑むにはどんな思いがおりなんですか。

**皆本** フットサルは、とても面白いスポーツだと思っていて、スポーツとしての可能性もものすごく感じています。ただ、それをうまく形にできていない。誰かがやってくれればいいですけど、待っていても誰もやってくれないし、思いを持った人間しかできないことです。この状況を突破できる人間は僕以外にいないと思ったので、自分に与えられた使命だと思って決断しました。フットサルを好きな子や立



### 皆本晃さん

1987年1月28日生まれ 千葉県松戸市出身。妹は女優の皆本麻帆。1993年Jリーグが始まった年に、小学1年生からサッカーを始めた。男の子はみんなサッカーをやり始めた時代。高校生まではサッカー、高校卒業のタイミングでフットサルに転向した。法政大学に通う一方で、府中アスレティックFCでフットサル人生を始め、24～5歳の時にスペインとカタールへ2年間。府中アスレティックFCが一般社団法人 立川アスレティックFCになった時点で代表理事となり、ホームアリーナをアリーナ立川立飛において頑張っている。JFA第29回全日本フットサル選手権大会決勝に進出、残念ながら名古屋オーシャンズに敗れて準優勝。Fリーグにおいても3位だったり準優勝だったり、なかなか優勝を得られないのが、その課題を乗り越えるべく多方面に健闘中。経営者として、応援してくれる人を増やす努力を欠かさない。この先約10年で、街に根差したフットサルチームへ成長させたいと話している。法政大学では都市環境デザイン工学科を専攻。数学の中教員免許も取得している。数字にはめっぽう強い。



ネットでも公開しています

川アスレティックFCを応援してくれる子も多いんです。でも大人になってフットサルやっても稼げないって思われるのがとても悔しい。その状況を打破したい。フットサルをやっても夢があって、大人になって選手になればこんな未来が待っているという世界を作りたいんです。これって思いがなければ絶対できないと思うんです。

——何事もそうですね。思いを持った人しかやり続けられない。

**皆本** こうした方がいいという課題がたくさんあります。だからまだ改善の余地があると思っています。やれることをやり切った今の状況だったら僕も諦めていると思います。が、やれることの半分もやっていないので。これからです。

——名古屋オーシャンズになかなか勝てないのはどうしてかしら。

**皆本** 名古屋オーシャンズは選手全員に給料が払えているんです。ですから、練習だけで、選手は働いていないんです。

——ん？ ということは、名古屋オーシャンズ以外のチーム、立川アスレもそうですが、選手はどうしているんですか？

**皆本** 選手全員に給料は払えていないので、午前中練習したら午後からは働いています。——アスリートの生活が保障されないと、スポーツを頑張っていくという子どもはいなくなりますよ。

**皆本** だから、この状況を変えたいんです。変えなければこの業界は変わらない。でもみんな諦めていますから、それができるのは日本中探しても僕しかいないです。今のままだと、フットサル好きだけど生活があるからフットサルをやめてサッカー選手になろうと思う子

どもが増えてしまいますよね。それが僕はいやなんです。そこが僕たちの向き合わなければならないところだし、そのために経営者をやっています。1年ですぐできるものではないので10年くらい頑張ろうと思います。応援してくれる人が増えてくれるように

努力しています。極論ですが、スポーツの何が一番面白いと言ったら、自分の子どもや関係者の運動会が一番だと思うんです。熱が入る。子どもの運動会にプロの技なんてひとつもない。ただ一生懸命やっているだけ、なのに一番熱が入りますよね。それと同じで、家族のようによく知っている人になることが大事だと思っています。だから学校を訪問したりスポーツクラブに行ったりしてつながることで顔を知ってもらい、知っている人になる、関係者になるということに努力しています。そこから友だちが友だちを呼んでというつながりの連鎖、これが今僕たちが取っている方法です。それが広がってきたら次の戦略を考えたいと思っています。

——練習場もまだ立川にはないんですよね。

**皆本** そうなんです。今は調布市で練習しています。

——立川アスレティックFCというからには立川にいてもらいたいです。

**皆本** ありがとうございます。そうしたいです。練習拠点到近所に選手は住んだり、働いたりしますから、立川にあると一番いいんです。立川にクラブがあれば、子どもたちもそのクラブに入ってきたりしますからね。そこ



は何とかしたいところなんです。

——世界ではフットサルってどんな位置づけなんですか。

**皆本** ブラジルとかスペインとかリーグを持っている国では、1つのスポーツとして見なされています。僕が行っていたのはスペインの田舎街で、何にも娯楽がないんです。お休みの日はお酒飲むかフットサル観るか、それしかないから街の一部になっていて、新聞の一面は僕らでした。そのかわり負けたりすると辛辣な言葉で書かれたり、子どもたちでさえ全力で文句言います。試合会場で「お前、全然使えねえな」「あのプレーなんだったんだ？」とか(笑)。でもそのくらい生活の中に溶け込んでいたんです。スポーツを観る文化というのが日本とはだいぶ異なるので、まだまだ日本はこれからなんだという思いも持っています。フットサルに関しては、街のみんなが関わっているというようなチームにしていきたい。関わることの楽しさって絶対あると思うので。

——それにはやっぱり練習拠点がですねえ。10年くらいでできるかしら。

**皆本** やるしかないです。決めたらやるしかない。期限があるから頑張れると思います。





ネットでも公開しています

# 学校が楽しい~!

## 明日も行きたいところ、それは学校

立川四中の保護者の方からメールが届いた

「とにかく一度学校に来てほしい、校長と話してほしい」

熱のこもった長いメールに動かされて、

卒業を控えた3年生の調理実習に行ってみた

あと3日で卒業式という3月15日の5、6時間め。出迎えてくださった宮本尚登校長に案内されて、立川四中の調理室に行った。コロナ禍で、3年生は入学以来一度も調理実習をしたことがなく、調理室に入るのも初めてという生徒も。調理室で待っていたのは、大阪王将の社長以下、スタッフの皆さん。午前中の2時間めには食育の授業をし、3、4時間めには1組と2組の調理実習。午後になって3組と4組の調理実習。作るのは、もちろん大阪王将の餃子。

大阪王将の文野幸司社長や林淳司取締役らがそれぞれの調理台で餃子の巻き方(包み方)を教える。生徒たちの飲み込みは速く、あっという間に焼きに入る。餃子を並べて焼き目がついたら100ccの水を入れて蓋をする。焼けたら皿で押さえながらのフライパン返し。きれいにできてもできなくても歓声上がる。いよいよ食す。どんどん焼いて、どんどん食す。「先生、明日も学校来たい!」「もっと食べたい」そりゃそうでしょ、美味しいもんね。

餃子は嫌いな人が少ない食べ物。面倒くさいイメージだけど、2秒で1個包む方法を教えてもらおうと、なんだ、簡単じゃん!

もともと立川四中は、学びに重点を置くことができる落ち着いた学校だと言われている。それでも保護者によれば「体育館にオペラ歌手を呼んだり、デジタルチャンバラのSASSENをしたり、校舎にプロジェクションマッピングしたり、劇団による全校生徒巻き込み型の謎解きゲームをしたり、山下洋輔さんのジャズコンサートを学校で聴かせてもらったり、立川市民科授業の集大成では生徒考案のメニューを販売したり。とにかくすごい!」のだそう。しかも一切保護者に負担がかかっていないらしい。大阪王将の餃子を前に宮本校長に聞いてみた。「この材料費はどれくらいですか?」——宮本校長「そこがミソなんです! 全部大阪王将さん持ちです」と。

大阪王将の文野社長にも話をうかがう。「いいんです。地域貢献ですから。とはいえ、立川にお店はないんですけど、武蔵村山のイオンや昭島のモリタウンにありますから。今日一緒に来たスタッフも本社スタッフです。喜んでもらえればいいんです」と。授業が終わったら、大阪王将の方々、サッと上着を着てスッと引き上げていった。

確かに学校は変わりつつある、そんな印象だった。



大阪王将の餃子(店舗で)

大阪王将 武蔵村山イオンモール店

最後に大阪王将のスタッフの皆さんと記念写真  
後列左端 宮本尚登校長 後列中央 文野幸司社長



えくてびあんはリストのお店にあります。今月は柴崎町・富士見町のお店です。

柴崎町

- かみゆい処 わ ..... 522-8202
ホテル ほまれ ..... 523-0588
ヘアサロン オオヌキ ..... 528-0809
中国四川料理 山城 ..... 512-8356
酒歩 たから ..... 528-1510
リサイクル着物 着楽堂 ..... 523-9702
天婦羅・うなぎ 良銀 ..... 522-6702
ギャラリー きらら ..... 522-3913
生活雑貨 EAST END ..... 523-9636
特むし銘茶・海苔 菊川園 ..... 526-2035
ジョイフルプラザ ..... 529-2772
めん心 堤屋 ..... 525-6602
hoccori\* cafe ..... 595-8379
立川わかば整骨院 ..... 526-8518
中華小皿料理 得得屋 ..... 528-1060
Fashion You Me ..... 523-1640
石原薬局 ..... 523-4067
サイクルハウス 輪輪館 ..... 522-8100
(株) 正盛堂 ..... 522-2328
小林歯科クリニック ..... 527-8217
ビューティーサロン ウィスタリア ..... 527-1116
オリオン書房 サザン店 ..... 525-3111
西武信用金庫 立川南口支店 ..... 529-1311
多摩信用金庫 南口支店 ..... 528-2211
リオネットセンター立川 ..... 523-3321
りそな銀行 立川支店 ..... 522-4161
ほっとすべーす 中屋 ..... 522-2932
立川ワシントンホテル ..... 548-3380
Coffee Shop LARGO ..... 525-6704
のーかる・パザール ..... 548-2511
ジバー・カフェ ..... 548-2511
BAKU BAKU ..... 527-2721
喫茶 ギャラリー花 ..... 524-3668
髪職人 YOSHIZAWA ..... 522-5593
矢沢歯科 ..... 525-6600
キッチンコート立川店 ..... 540-1131
LaLaLa ..... 090-2564-3198
酒 醒醐 ..... 522-4926
スープ・カフェ なんでもない日 ..... 523-5114
武本測量 (株) ..... 524-7731
立川市柴崎市民体育館 ..... 523-5770

富士見町

- (株) 浅見酒店 ..... 522-2823
西村歯科クリニック ..... 519-9501
井上レディースクリニック ..... 529-0111
中華レストラン 東華園 ..... 529-0458
有料老人ホーム サンビナス立川 ..... 527-8866
うさぎ専門店 ラッキーラビット ..... 524-6054
びーびーK70 ..... 525-3623
(株) ホーミー ..... 522-2220
カフェ・貸しホール ぼくだん畑 ..... 522-2214
トロピカル・ジーナ ..... 512-7210
波多野書店 ..... 522-2884
立川市社会福祉協議会 ..... 529-8323
立川市歴史民俗資料館 ..... 525-0860
乙黒東洋整骨院 ..... 523-1859
インテリア アイアイ ..... 522-5972
多摩信用金庫 富士見町支店 ..... 528-1741
酒 ESPOA おぎの ..... 522-4500
(株) 立川印刷所 ..... 524-3268
はじめ治療院 ..... 524-7727

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄はスマホアプリ「スカパー！番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

掲載しきれなかった写真などはQRコードからどうぞ



柴崎町に稚児行列

3月28日、真如苑開祖のお誕生日に、立川駅南口から柴崎町の真如苑総本部に向けて稚児行列が行われました。すっかりお祭りとして地元で定着した稚児行列ですが、本年は3月31日に執行される新第二精舎の上棟式を前に、棟上げに使われる幣串の担ぎ手も一緒に練り歩きました。心地よい音楽とともに装束に身を包んだお子さんたちがかわいらしかったです。



立飛グループ100周年記念事業の一環

3月22日、立川ステージガーデンで「辻井伸行x三浦文彰 究極の協奏曲コンサート」が開催されました。指揮はニール・トムソン、オーケストラは読売日本交響楽団。開場前から入場を待つお客様で長蛇の列。比較的ポピュラーな演目に満席の会場は大満足。辻井さんはGREEN SPRINGS開業前から立川を訪れて、とても好きな場所。その場所のイメージで作曲した『GREEN SPRINGS』をアンコールで奏でてくださいました。SORANO HOTEL前の噴水付近にいます、そのメロディーが流れてきます。噴水が音に合わせて踊ってくれるので、ぜひまだ聴いていない方は訪れてみてください。



三浦文彰さんと辻井伸行さん



辻井伸行さんの演奏



満席の会場

ちょっと聴けない講演会

3月9日、たまがわ・みらいパークで国文学研究資料館 太田尚宏先生による面白い講演がありました。「古文書から見た 多摩地域の樹木と人々の暮らし ~江戸から近代まで~」です。中心にあるのは多摩地域に見られる木々。樹木を真ん中に置いた生活の歴史や幕府の統治はなかなか聴くことができませぬ。徳川林政史研究所にいらした太田先生だからできること。先生は「『里山』と呼ぶのは嫌い」だそうで、「裏山」と言うのだと。確かに、近所のおじいさん、おばあさんは「裏山」と言っていましたよ。生活に密着した裏庭、裏山だったんですね。



講演会の様子

たちかわ交流大使 山下洋輔さん

立川市にゆかりある著名人の中から立川市長が委嘱する「たちかわ交流大使」。3月21日改めて山下洋輔さんに酒井市長から委嘱状が交付されました。市長室において交付式が行われ、懇談される中に、山下さんが「中学校で演奏させていただき、それがとても喜ばれたと私の耳にも届きまして、とても嬉しく思いました」と。山下洋輔さんは立川市の宝ですね！



委嘱状の交付



酒井市長(左)と懇談される山下洋輔さん

3.11の祈り

3月11日、立川ステージガーデンロビーで、「立川3.11の祈り Gran Partita」が開催されました。今回は能登地震支援金として入場料は千円。主催は「できることをできるだけプロジェクト」。東日本大震災の津波で傷んだ着物のリメイク衣装を、演奏者が着用するのがこのコンサート。被災した布を世界中の人が手を加えてタペストリーに。それが所狭しと並べられるのもこのコンサートの特徴です。音楽もタペストリーも素晴らしかったです。



主催のしおみえりこさんと橋爪恵一さん



演奏会の様子

萬田和正さん、消防行政特別協力章

消防行政特別協力章とは、東京消防庁の部外者の個人が長年にわたり、消防行政の発展、消防業務の推進または消防施設の拡充強化に貢献し、その功労が特に顕著で他の規範となる方またはこれに準ずる方を表彰するもので、各消防署長からの推薦により選考され、今回東京都では8名が表彰されました。8名の中に、地域の防火防災の向上に尽力されてこられた萬田和正さんが受章されました。萬田さん、おめでとうございます！(写真提供：立川消防署)



左から 消防総監、萬田和正さん 立川消防署長(3月7日現在)

真如ヤーナお花見散歩

桜の開花予想はむずかしい。いつか桜の名所になってほしいと武蔵村山市桜まつり実行委員会の田代事務局長がオープニングセレモニーでおっしゃる中、真如ヤーナでは3月30日になってチラホラ開花。花はなくても、広々とした空間で、緑や空気を満喫。今年はワンちゃんも一緒に楽しめました。



表紙

中央分離帯の植栽にも春(緑町)

2012年3月に撮った写真です。花みどり文化センターから西に、みどり橋を渡って国営昭和記念公園立川口に向かいます。みどり橋の下には都道153号立川昭島線が走っています。この中央分離帯、いろいろ植栽が変わります。街が成長していく時には道路もそれに伴って変化していくようです。緑は生きていますから、人の通行の妨げにならないよう、あるいは生育不良であれば良いものに替え、健全で豊かな緑を維持することも大切になります。そんな努力のおかげで、この辺り一帯の緑はいつ見ても本当にきれいです。折々にそんな緑を撮影しておくのも街の大事な成長記録になっていくのでは、と思って今日も撮影に出ます。

かたこと

◆新年度になりました。別れがあって出会いがあって、新しい未来を切り開く出発点。自らを、勇気をもって変えていく大きなチャンスかもしれません。立川四中の宮本校長の在り方に教えてもらうことが多くありました◆それにしても、令和6年に入って地震や火事、事故など、世間を驚かせるようなことが多くあるように感じます。毎年そうだよとおっしゃる方もいるかもしれません。でも元日から大きな地震に見舞われて、4月1日には4か月を迎えました。立川市も人的支援を続けていますが、まだまだ見えてこないかつてあった日常。世界の紛争も止まず、ただただ平穏な生活が戻ることを祈るばかりです。◆ネット全盛の時代で紙媒体ってどうなの？と言われることがあります。そうですね。でもえくてびあんには読者から電話がかかってくる場合があります。「記事を読んでとても面白いと思ったのだけれど、こういったこと、先に知ることはできないの？」と。そうなんです。えくてびあんでも先にお知らせしたいと思っはいるのですが、印刷物は今日言われて今日掲載はできないのです。どうぞ皆さん、告知したいことの詳細が決まっていなくても、とりあえずご一報いただけますか？ よろしくお祈りします◆えくてびあん社内にも新しい風が吹き始めています。これからの変化を楽しみに、どうぞお手にとってご覧ください。「立川はえくてびあん」です！ えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん

5月号 第40巻 通巻470号

令和6年5月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 ダイオームウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



## 合言葉は「ビバ! コスモ」

全国的なトレンドとして「PTA 解散」が選択される時代。企業にその部分を任せる所もあるようです。そんな潮流の中、第七小学校の PTA 会長 小松原萌子さんから熱のこもったメールをいただきました。本来は開校 70 歳をお祝いすべきなのでしょうが、65 歳をお祝いすることになりましたとのこと。何かをやるうとする強い思いが伝わってきたので 3 月 10 日、第七小学校の校庭に出かけていきました。快晴の下、立川で一番小さい規模の小学校らしくコンパクトなイベントは大盛り上がり。各学年 1 クラス、みんなが兄弟姉妹。保護者も近所の方もやってきて、サプライズセッションは校長先生と PTA 会長。フィナーレのバルーンリリースでみんなが感動を共有しました。「ビバ! コスモ」の掛け声で放たれたバルーンが青空に吸い込まれるまで、大人も子どもも静かに行方を見守っていたのが印象的でした。



ゲームに大興奮



当日集まったほぼ全校児童

サプライズセッション  
島村雄次郎校長と小松原会長

## 能登半島地震被災者支援

立川市の図書館には他の自治体と比べると児童書が充実、輪島市の小・中学生への読書活動支援の要請に応じられるということで、現在まちの復興業務優先で図書館業務が行われていない輪島市に対し、「たちかわ電子図書館」が保有している電子書籍「児童書読み放題パック」を開放、閲覧できる状態にするということです。3 月 8 日、酒井市長や池田朋之図書館長による記者会見がありました。すばらしい取り組みで、こうした形での支援ができることは市民としても喜ばしいことです。



取組みについて説明する酒井市長、  
左は池田図書館長（当時）